



数理情報学科

第3回特別講義のお知らせ

Issue 2009-11-06



- 講師**
 川上浩司 (京都大学情報学研究科准教授)
- タイトル**
 不利益を活用するシステム設計
- 講演日時**
 2009年12月2日 水曜日
 第5講時 (16:50 ~ 18:20)
- 会場**
 3号館 207教室

講演概要

「より便利なもの」が「生活を豊かにするもの」として追求され、技術革新を牽引する。それが新たな問題に引き起こそうとも、それを克服する更なる便利が追求される。これが対症療法的にならざるを得ない場合、他に選択肢はないのか。ただし「昔の生活に戻れ」と主張することは現実的ではない。便利の押し付けで看過されたが実は重要なコト（不利益）を掘り起こし、それを整理した上で新たなデザインの指針とする試みを紹介する。



特別講義対象者

- 数理情報学科1~4年次**
 1~4年次の間に6回以上出席認定されれば、2単位が与えられ、6回で80点、7回で90点、8回以上の出席を100点とする。ただし、単位登録は4年次前期に行う。
- 他学科の学部学生、大学院生、教員の聴講も歓迎します。

注意事項

- 外部講師を招いての講義です。私語は慎んで下さい。私語をやめない学生は直ちに退出してもらいます。
- 数理情報学科の学生は1時間程度の講義の後、直ちに講義内容に関する設問、および、講義についての感想をレポート（用紙は当日配布）にまとめて提出してもらいます。筆記用具、ノート、メモ用紙などを持参し、講義中は要点をノート、メモ用紙などに書き留めておいて下さい。
- これまでの特別講義の出席回数を当日の講義会場に掲示しますので、各自で確認しておいて下さい。